

第66回定時総会の報告

笹 公人

二〇二一年六月二十四日(木)
午後六時より、東京神田の学士会館において、一般社団法人現代歌人協会「二〇二一年度定時総会」が行われた。昨年十二月と同様、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、協会役員のみ出席で開

催された。
司会の笹公人理事より開会挨拶があり、定時総会が開かれた。一般会員には委任状の提出を依頼した結果、議決権を有する当協会の会員総数八七三名のうち、委任状と出席の理事・監事の合計が五三一名となり、定款第13条の定める定足数に達していることが確認され、総会の成立が報告された。
まず、理事長の栗木京子氏より挨拶があった。この半年間の協会の活動の大きなトピックとして、現代歌人協会編「二〇二〇年コ

ロナ禍歌集」が出版されたことが報告された。
その後、議事に移り、議長は定款第16条に従い、栗木京子理事長が務めた。まず、二〇二〇年度事業報告を栗木理事長が行い、次に同収支決算報告を外塚喬理事が、同監査報告を木村雅子監事が行い、それぞれ承認された。

続いて、栗木理事長から二〇二一年度の事業計画案が発表された。開催の懸念されていた全国短歌大会は予定通り実施したい旨、公開講座も三回に縮小はするが開催したい旨の説明があった(※その後、どちらも中止を決定)。また、数年前より懸案であった現代歌人協会ホームページのリニューアル版を準備する旨の説明があり、イベント企画・シンポジウム「二〇二〇年コロナ禍歌集」を読む」は、来年3月27日(日)に学士会館で開催したいとの提案があった。その後、二〇二一年度の予算案が外塚理事より提案され、事業計画案とともに承認された。
続いて、理事改選について、都合により欠席だった理事選考委員会委員長の島田修三氏に代わって

副委員長の外塚喬氏から報告があった。同委員会は、理事として沖ななも氏、内藤明氏、吉川宏志氏、外塚喬氏、また理事以外として伊藤一彦氏、佐伯裕子氏、沢口芙美氏、島田修三氏、米川千嘉子氏の合計九名により、3月29日に学士会館にて開催された。この選考委員会で選ばれた十九名の新理事候補は、五月の理事会に報告され、その理事会の推薦を受けて本定時総会に上程されている。外塚喬副委員長より十九名の新理事候補者が提案されると、大きな拍手とともに承認された。

次に、会員推薦委員会委員長の小島ゆかり理事より二〇二一年の新会員四十三名が紹介され、満場一致で承認された。

議案審議の終了後、協会賞委員



総会で事業計画案の説明をする栗木理事長

会委員長の坂井修一理事より「第65回現代歌人協会賞選考経過報告」があった。同賞の選考委員は坂井修一理事、沖ななも理事、奥田亡羊理事、久我田鶴子理事、栗木京子理事、内藤明理事、御供平信理事の七名である。

最終候補歌集となった五冊、田宮智子『にず』、阿波野巧也『ビギナーズラック』、川野芽生『Tribu』、小林真代『Tribu』、北山あさひ『崖にて』をめぐり、3月26日に受賞作を決めるための最終討論がZoomにて行われた結果、川野芽生氏の『Tribu』、北山あさひ氏の『崖にて』の二歌集に決定したとの報告があった。

本来であれば、定時総会終了後に現代歌人協会賞の授賞式と祝賀懇親会が行われる予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、授賞式と祝賀懇親会は十二月に延期する運びとなった。

●臨時総会・忘年会予告●
日時 12月23日(木) 17時半〜開場

東京・神田錦町 学士会館

※当日は、現代短歌大賞、現代歌人協会賞の授賞式なども予定しておりますが、コロナ禍の感染状況を注視しながら開催方法については慎重に判断したいと思っています。詳細は、ぜひ協会ホームページをご覧ください。